

# 事業完了報告書（実行団体）

事業名:	「バスケットボール夢授業と試合観戦」事業
資金分配団体名:	一般社団法人RCF
実行団体名:	熊本バスケットボール株式会社
実施時期:	2021年7月～2022年2月
事業対象地域:	熊本県
事業対象者:	熊本県ひとり親家庭福祉協議会

Version 3.2  
日付: 20xx年xx月xx日

## I. 事業概要

事業実施概要	コロナ禍や被災地の子ども達が元気に、未来に向かって生きて行くため、生活困窮者を減らしたい。 ①熊本の場合、コロナ禍でのひとり親家庭における親の就業問題（企業の売上減収による雇止めや解雇等） ②令和2年7月豪雨災害における人吉・球磨地区を中心として、県下全域での被災者がいる現状。 ③感染症の蔓延・拡大における学校等の登校自粛やオンライン授業等による同級生とのコミュニケーション不足等での孤立感の顕在。 ※県・市による調査、及び地元紙：熊本日日新聞等での掲載記事など
--------	--

## II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	【良かった点】 ・計画した事業に対してきちんと遂行できた。 ・コロナ禍で困窮世帯に対するアプローチとして熊本県ひとり親家庭福祉協議会様と連携できたことは良かった。 ・募集開始と同時に予想を遥かに上回るエントリーがありコロナ禍であってもイベント参加への需要の高さに驚いた。  【反省点】 ・熊本県内に蔓延防止等重点処置が発出された影響で残念ながら実施が叶わなかった事業もいくつかある。 ・シーズン中の実施になるため事業計画段階で実施回数と参加人数の規模をもう少し協議していれば良かった。 ・実施後のアンケート記入～回収方法の工夫で獲得率が変わっていたと思う。(例：アンケート回収時に●●プレゼントetc..)
-------------------	---

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
ひとり親	その他	ひとり親家庭の子どもが人とのつながりや未来への希望を感じ、孤独感・孤立感が軽減されている	・アンケート取得率 ・アンケートの回答結果	アンケート回収率：80% ポジティブな変化が見られた回答率：60%	アンケート回収率：65.41% ポジティブな変化が見られた回答率：100%	熊本バスケットボール株式会社(熊本ヴォルターズ)として初めての事業で事業計画に沿って試行錯誤のなかで実施してきたが、困窮世帯の親子や子ども達と触れ合う中で具体的などうした困りごとがあるかは深い把握はできなかった。しかしアンケート回答では、プログラムへの参加により、ポジティブな変化が生じたことが把握できた。
ひとり親	その他	ひとり親家庭の子どもが人とのつながりや未来への希望を感じ、孤独感・孤立感が軽減されている	・体験プログラム実施回数 ・体験プログラムの参加者数	実施回数：5～10回 参加人数：500名	実施回数：6回 参加人数：414名(子ども266名)	新型コロナウイルスの影響により実施回数、実施規模を当初計画より減らしたことで、目標の参加人数500名には至らなかった。

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

事業実施以降に目標とする状況	事業計画参照
考察等	熊本バスケットボール株式会社(熊本ヴォルターズ)として初めての事業で事業計画に沿って試行錯誤のなかで実施してきたが、困窮世帯の親子や子ども達と触れ合う中で本当に困窮しているのか、食べものに困っている子達なのかは正直分からなかった。しかしながらひとり親家庭福祉協議会との連携のもと子ども達の居場所づくりや親子のコミュニケーションを図る場は創れたと実感している。そのような場作りが今後大切であり場がないと困った人たちが行き詰ってしまうのは確かなので、誰でも気軽に立ち寄れる場作りを継続拡大していくことが世の中を良くしていくことに直結すると思う。

## V. 活動

活動	進捗	概要
①被災地で自宅や家族を亡くした子ども達、また、ひとり親家庭で食育もままならない子ども達を対象に、熊本ヴォルターズでは、子ども達に寄り添い、未来への夢を持ち続けて、逞しく生き抜くことをバスケットボールの試合観戦や参加を通じて、学んでいくことを実践していきます。	計画通り	熊本県ひとり親家庭福祉協議会と連携して県内約6,000世帯のひとり親家庭会員へ子ども食堂や試合観戦ツアーのご案内を実施した。
②現状は、厳しい社会情勢（コロナ禍による地域コミュニティのあり方）の中、協働での見守り事業を支援する上で、地域社会の一員として、熊本ヴォルターズの活動として可能な事業を展開する。	ほぼ計画通り	見守り事業としての実績は作れなかったが、試合観戦ツアーを通して送迎バスが来る待機時間を利用して新しいお友達ができたり交流やコミュニケーションの場は作れた。
③事業の柱としては、対象となる子ども達に対し、ア) Bリーグのバスケットボール公式戦の観戦、イ) 実際に体を動かす3×3バスケットボールの体験会、ウ) TOPチーム選手による体験談を中心とした座学授業の開催、エ) 熊本バスケットボール株式会社の事務所がある熊本市東区の健康商店街：子ども食堂での食育活動の実施、オ) 試合会場内でのマルシェやチーム選手等のグッズの提供等で、スポーツの持つ魅力や参加することでの元気な笑顔や体力面でサポートを実施することが可能である。	計画通り	計画通りに実施できた。
④特に、TOPチームの選手との交流や子ども食堂での食事会等を実施することで、身近にプロ選手と語り合うことで、未来に向けての自らの夢を想像することが可能になる。	ほぼ計画通り	TOPチームの選手との交流の場は作れなかったが、影響力のある元プロ選手との交流の場を作ることができた。
⑤また、食材の提供者を協業の事業者として参画して頂く取り組みを実施することで、社会的なネットワークの構築に繋げて行く。	計画通り	株式会社丸菱ホールディングス様と連携して熊本地震で甚大な被害があった益城町の子ども達へ食事提供の場を設定することができた。

## VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	ひとり親世帯を対象としているためバスの送迎付き試合観戦ツアーを組んだが、バスを利用しない世帯が申込件数の約1/3ほど居た。コロナ禍でバス車内は密になるための対策でもあると思うが自力で会場まで来れる世帯が全体の約1/3ほど居て驚いたと共にスポーツ観戦を楽しみにしている親子がいることに喜びを感じた。 1～2度は本招待事業を通じて試合観戦をしたひとり親世帯の方々がチケットを購入して試合観戦に来られるケースもありスポーツエンターテインメントが持つカラを再認識した。熊本ヴォルターズを通して郷土愛や親子の時間、共通話題の提供、コミュニケーションの活性化に繋がったと思う。
---------------------	---

## VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	参加後に実施したアンケートで「ポジティブな変化が見られた」と回答した方の割合が134%(複数回答可であった為)であったこと、ネガティブな回答は0%であったことから対象者の状況が参加後に良い方向に転じたことが言える。私たちが事業を通して繋がった企業や団体とこれからのビジネスパートナーとして共に熊本を盛り上げていく仲間に出会えたことは非常に大きい。 これからの経験や繋がりを生かして来年度も何かしらの形で事業を継続して困窮世帯の救済を継続支援していきたい。
-----------	--

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果
熊本県ひとり親家庭福祉協議会	ひとり親世帯へのご案内～申込みとりまとめ
株式会社丸菱ホールディングス	食品作りに係る食材の手配や調理室、調理備品、料理人の手配
尚綱大学	栄養管理士監修のもとメニューの考案、学生アルバイトの手配
株式会社ヤマチク	子ども食堂開催時のお箸の提供と廃材を活用したワークショップの開催
株式会社鮮ど市場	ひとり親家庭のバスの発着場として、駐車場を無償提供
熊本県産業文化振興株式会社（グランメッセ熊本）	ひとり親家庭のバスの発着場として、駐車場を無償提供

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

事業費	計画額		実績額		執行率
	直接事業費	管理的経費			
			9,504,000	7,770,026	81.8%
			400,000		0.0%
合計			9,904,000	7,770,026	78.5%
補足説明					

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	熊本日日新聞(2021年12月6日朝刊)子ども食堂開催について J:com(2022年3月5日)休眠預金を活用した事業展開の記者会見について
2.広報制作物等 当該事業費を使って製作したもの	子ども食堂開催のご案内用紙、ランチョンマット 参加者へ配布するアンケート用紙
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	ご案内用紙やアンケート用紙には必ずシンボルマークを使用
4.報告書等	①バスケットボール夢授業と試合観戦2021年11月7日実施報告書 計結果_全体集計20211019 ②子ども食堂&TVでバスケット試合観戦2021年12月5日実施報告書 集計結果20211107 ③チーズづくり体験&熊本ヴォルターズ試合観戦2021年12月26日実施報告書（確定） ④スポーツクラブによるコロナ緊急支援事業についての記者会見 ◎ルールブックバスケットボールの楽しみ方 1回目アンケート集計結果20211226 ⑤「バスケットボール夢授業と試合観戦」アンケート集 ⑥「バスケットボール夢授業と試合観戦」アンケート ⑦「バスケットボール夢授業と試合観戦」第3回目アン ケート集計結果20211128 ⑧「子ども食堂&バスケットボール試合観戦」第1回 目アンケート集計結果20211205 ⑨「バスケットボール夢授業と試合観戦」第4回目アン ケート集計結果20211219 ⑩「チーズ作り体験&熊本ヴォルターズ試合観戦」第

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	整備中	現在、会社規程の全体的な見直しを行う予定であり、顧問の司法書士、税理士と協議を開始している。 また、コンプライアンス規程については、臨時株主総会にて承認予定。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		事業期間中に整備が出来たものから、随時、アップロードを行っている。また、社内的にも情報開示し、各規程についての勉強会を開催して周知している。
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	未公開	現在、利用しているWebサイトはBリーグとの連携機能があるため、未公開となっている。 今後、クラブ運営会社のWebサイトを構築予定で動いている。（公開予定：2022年12月予定）
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	いいえ	月次決算報告時の支払帳票（総勘定元帳）を代表取締役以下、社長、取締役の開示している。
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 （実施予定の場合含む）（複数選択可）	外部監査 内部監査 実施予定はない	決算処理については税理士法人：さくら優和パートナーズに業務委託 また、監査人として、公認会計士に業務委託
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	まだ、内部通報制度自体に関して学習中であり、社内での承認を得て、規程の制定を行う予定。 山崎順子司法書士の指導を仰いで、作成を行います。